

診察前検査結果報告所要時間

2025 年度 臨床検査部 診察前検査結果報告時間

	血球数算定	プロトンビン時間	D-ダイマー	生化学検査	尿沈査
目標報告時間	30分以内報告率	60分以内報告率 (4月は45分)	60分以内報告率 (4月は45分)	60分以内報告率 (4月は45分)	60分以内報告率 (4月は45分)
達成目標	30分	60分	60分	60分	60分
4月	92.4%	84.1%	85.0%	66.0%	81.9%
5月	91.6%	91.6%	93.5%	88.2%	84.1%
6月	91.4%	91.4%	95.1%	88.9%	86.6%
7月	86.6%	86.6%	93.9%	90.3%	90.5%
8月	85.9%	85.9%	93.7%	86.6%	91.8%
9月	85.0%	85.0%	94.5%	90.6%	95.5%
10月	89.8%	89.8%	94.5%	90.0%	96.6%
11月	88.5%	88.5%	93.0%	89.7%	96.1%
12月	79.2%	79.2%	92.4%	90.8%	95.3%
1月	75.2%	75.2%	93.0%	91.3%	94.2%
2月	89.2%	89.2%	92.6%	85.0%	95.6%
3月	90.3%	90.3%	94.3%	90.8%	98.5%
年間平均	87.1%	86.4%	93.0%	87.3%	92.2%

外来診察前検査結果報告所要時間は、達成目標時間内に結果報告できた割合%を用いて、各検査項目の検査結果報告時間の短縮に取り組む指標である。

臨床検査部では 2025 年 5 月 6 日に検体検査全体の機器変更が行われ、検体検査システムと各測定機器の総入替、および全自動搬送システムが導入された。

全自動搬送システムは自動化が進む一方で、手作業よりも測定までに時間を要する。よって、プロトンビン時間、D ダイマー、生化学検査、尿沈渣は 2025 年 5 月以前の目標報告時間を 45 分としていたが、5 月から 60 分に変更した。

新システムの導入に伴い、複数の検査で平均検査結果報告時間の延長が認められるが、引き続き報告時間を短縮し達成%が向上できるよう継続した改善を行っていく。

データ提供 臨床検査部